

環境共生課

環境共生保全費	101
オフセット・クレジット推進事業費	102
清流保全推進事業費	103
四万十川総合対策費	104
希少動植物保護対策事業費	105
自然公園等施設整備事業費	107
自然公園等管理費	108
牧野植物園管理運営費	110
豊かな環境づくり総合支援事業費	112
環境活動支援センター事業費	113
公園施設等災害復旧事業費	114
自然保護基金管理費（特別会計）	114

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境共生保全費	5,663	5,663	13,263		(諸) 6	13,257

I 環境企画費 (7,808千円 (-)7,808千円)

1 目的

環境基本法第43条に基づく環境保全に関する重要事項等や自然環境保全法第51条に基づく自然環境の保全に関する重要事項を調査審議するため、高知県環境審議会及び総合部会を開催する。

また、高知県環境基本条例第9条に基づき策定される高知県環境基本計画第四次計画が令和2年度に満了するのを受けて、新たに高知県環境基本計画第五次計画を策定する。

2 内容

(1) 環境基本計画改定委託 7,172千円

(2) 事務費 636千円

委員報酬 396千円 (審議会委員報酬、総合部会委員報酬)

その他事務費 240千円

【環境審議会】

<審議会関係法令>

【国】環境基本法、自然環境保全法、温泉法、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、水質汚濁防止法

【県】環境審議会条例、環境審議会運営規程、環境審議会傍聴要領

<審議会の現状>

- ・審議会は5つの部会で構成(総合部会・自然環境部会・温泉部会・水環境部会・生活環境部会)
- ・審議会は年1回、各部会は随時開催
- ・審議会委員は23名の学識経験者及び関係行政機関職員で構成

3 令和元年度に実施した主な事業

環境審議会の開催 1回

II 環境影響評価推進費 (1,011千円 (-)1,011千円)

1 目的

環境保全の総合的な推進を図るために、大規模な開発事業計画に先立って環境影響評価(アセスメント)の審議等を行う。

2 内容

(1) 委員報酬 540千円 (環境影響評価技術審査会委員報酬)

(2) 事務費 471千円

3 令和元年度に実施した主な事業

環境影響評価技術審査会の開催 4回 風力発電事業(配慮書) 1件
風力発電事業(方法書) 4件

III 環境共生保全事務費 (4,444千円 (計)6千円 (-)4,438千円)

1 目的

環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

2 内容

(1) 負担金 15千円 (公益財団法人日本自然保護協会負担金)

(2) 事務費 4,429千円

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	11,191	11,191	9,948		(諸) 5,589	4,359

I 高知県版 J-クレジット制度等運営事業費 (4,283千円 (-)4,283千円)

1 目的

県内の森林資源を活用した森林吸収及び排出削減プロジェクトを対象とした高知県版 J-クレジット制度の運営を行い、クレジットを創出・販売することで地球温暖化対策と雇用の創出へつなげる。

2 内容

- (1) オフセット・クレジット認証センター運営等委託 3,975千円
委託先：一般社団法人高知県山林協会
- (2) 事務費 308千円

3 令和元年度までに実施した主な事業

高知県版クレジット制度のプロジェクト登録等の状況
 プロジェクト登録件数 (累計) 12件 (R1:新規登録無し)
 クレジット発行量 (累計) 10,444t-CO₂ (R1:新規発行無し)
 クレジット無効化量 (累計) 2,321t-CO₂ (R1:448t-CO₂)

II CO2木づかい運動推進事業費 (76千円 (-)76千円)

1 目的

県産材を用いた木造住宅や木造建築施設、木製品の二酸化炭素固定量を認証することで、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし県産材の利用を促進する。固定量の算出認証事務は I 1 (1) の委託で実施。

2 内容

- (1) 事務費

III オフセット・クレジット販売促進等事業費 (5,589千円 (諸)5,589千円)

1 目的

排出削減・森林吸収クレジットの販売促進を図るため、首都圏などで開催される環境系イベントへの出展や環境先進企業への訪問、オフセットプロバイダーへの販売委託による販売体制の強化等を行い、低炭素社会のトップランナーとしての役割を果たす。

2 内容

- (1) オフセット・クレジット市場拡大事業委託 3,300千円
委託先：オフセットプロバイダー
契約方法：随意契約
- (2) 事務費 2,289千円

3 令和元年度までに実施した主な事業

オフセット・クレジットの発行
 ・木質資源エネルギー活用事業 20,257 t-CO₂
 H20:899t-CO₂, H21:1,932t-CO₂, H22:3,089t-CO₂, H23:2,534t-CO₂, H24:5,400t-CO₂, H25:6,403t-CO₂
 ・森林吸収量取引プロジェクト 2,305t-CO₂ (うちバッファ 68t-CO₂)
 H22:285t-CO₂, H25:2,020t-CO₂
 クレジット売却状況
 ・累計 462件 売却等済み 11,198t-CO₂
 H20:899t-CO₂, H21:1,742t-CO₂, H22:1,743t-CO₂, H23:1,658t-CO₂, H24:591t-CO₂, H25:1,744t-CO₂
 H26:478t-CO₂, H27:328t-CO₂, H28:363t-CO₂, H29:336t-CO₂, H30:444t-CO₂, R1:872t-CO₂

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	3,229	3,229	4,912		(入) 589	4,323

I 清流保全条例推進事業費 (4,192千円 (-)4,192千円)

1 目的

物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

2 内容

- (1) 物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会委員等報償費 171千円
- (2) 仁淀川清流保全計画印刷業務等委託 661千円
- (3) 物部川清流保全計画技術指針作成委託 3,223千円
- (4) 事務費 137千円

3 令和元年度に実施した主な事業

- (1) 物部川清流保全推進協議会の取組
代かき時期における濁水対策、軽減に向けた啓発の実施
清流保全活動の普及啓発等
- (2) 仁淀川清流保全推進協議会の取組
川の安全教室の実施
ごみ勉強会「仁淀川のごみを知ろう！ #プラスチック・スマート」の試行実施

II 清流保全計画指標モニタリング事業費 (589千円 (入)589千円)

1 目的

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

2 内容

- (1) 事務費 589千円

III 協働の川づくり事業費 (131千円 (-)131千円)

1 目的

森と密接な繋がりを持つ川の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

2 内容

- (1) 事務費 131千円

3 令和元年度に実施した主な事業

協働の川づくり事業パートナーズ協定 7者
(内訳 アサヒビール株式会社、高知食糧株式会社、有限会社高知アイス、株式会社あさの、株式会社伊藤園、株式会社四万十ドラマ、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	15,886	15,886	13,344		(入) 553	12,791
<p>I 四万十川総合調整事業費 (11,250千円 (-)11,250千円)</p> <p>1 目的 四万十川の総合調整を推進するため、国・愛媛県・流域市町・関係団体・住民団体等との連携を図るとともに、保全と振興の実践団体である四万十川財団の事業を支援する。</p> <p>2 内容 (1) 四万十川調整事業費 120千円 国、愛媛県、流域市町、関係団体、住民団体等（広見川流域、四万十川総合保全機構及び四万十川自然再生協議会等）との調整、庁内調整等により、四万十川総合対策を推進する。 (2) 四万十川財団運営費補助金 11,130千円 四万十川流域の保全と振興への対策を推進する中核的実践組織として設立した四万十川財団を支援するため、管理運営費の一部を助成する。 補助先：公益財団法人四万十川財団</p> <p>3 令和元年度に実施した主な事業 文化的景観連絡協議会、四万十川すみずみツーリズム連絡会等との連携による流域の振興を図る取組 四万十くろそん会議、大正なかつか会議の運営等による住民協働の流域振興を図る取組</p>						
<p>II 四万十川条例推進事業費 (2,094千円 (-)1,541千円 (入)553千円)</p> <p>1 目的 四万十川の保全と流域の振興を図ることを目的とした四万十川条例の規定により、重点地域における許可制度の運用等により、生態系や景観の保全を図るとともに、共生モデル地区の取組を推進する。</p> <p>2 内容 (1) 四万十川流域保全振興委員会委員報酬 (117千円 (-)117千円) 四万十川条例に関する重要事項等を調査審議するために設置した、四万十川流域保全振興委員会を運営する。 (2) 重点地域等管理費 (1,424千円 (-)1,424千円) 四万十川の保全を重点的に進めるために指定した重点地域において、許可制度の運営等を充実させるとともに、共生モデル地区の取組を推進する。 (3) 清流基準モニタリング事業費 (553千円 (入)553千円) 四万十川の水質保全に関する総合的な対策の推進を図るため、モニタリング調査により清流基準達成状況を把握する。</p> <p>3 令和元年度に実施した主な事業 重点地域における四万十川条例許可制度の運用 高知県四万十川流域保全振興委員会の開催 1回 四万十川流域河川環境対策検討委託業務による濁水軽減対策の検討 四万十川清流基準モニタリング調査による四万十川の水質の把握</p>						

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	25,191	25,191	28,758		(入)20,838	7,920

I 保護対策事業費（13,021千円（入）5,427千円（-）7,594千円）

1 目的

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討や調査等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護対策等を行う。
 また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。
 また、沿岸域の生物多様性保全のため、サンゴ礁生態系保全行動計画に沿って高知県内のサンゴ群集保護に向けた対策を行う。

2 内容

(1) レッドデータブック改訂委託（植物編）（5,814千円（-）5,814千円）

高知県レッドデータブック植物編を改訂するため、原稿とりまとめ業務を委託する。
 委託先：公益財団法人高知県牧野記念財団
 契約方法：随意契約

(2) 外来種リスト作成委託（638千円（-）638千円）

高知県版侵略的外来種リスト普及啓発パンフレットの作成を委託する。
 委託先：県内事業者
 契約方法：随意契約

(3) 高知県沿岸海域サンゴ分布基礎調査委託（2,486千円（入）1,841千円（-）645千円）

サンゴ群集の分布概況や攪乱状況、再生能力等の調査を委託する。
 委託先：公益財団法人黒潮生物研究所
 契約方法：随意契約

(4) 希少野生動植物普及啓発事業等委託（3,586千円（入）3,586千円）

希少野生動植物の普及啓発パンフレット作成及び企画展運営を委託する。
 契約先：県内事業者
 契約方法：指名競争入札

(5) その他事務費（497千円（-）497千円）

3 令和元年度に実施した主な事業

県内の希少野生動植物等の保護対策及び特定外来生物等の拡大防止対策を実施

- ・高知県レッドデータブック(植物編)改訂委員会開催(3回)及び調査対象種調査、リストの公表
- ・高知県版侵略的外来種リスト検討会開催(2回)及びリスト・マニュアル作成、公表
- ・県東部のサンゴ群集の分布調査や攪乱状況、再生能力等の調査を実施及び報告会の実施
- ・うみがめ保護活動情報交換会 39名

II 希少野生植物食害対策事業費（15,411千円（入）15,411千円）

1 目的

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

2 内容

(1) 調査業務委託 2,263千円

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画の作成を委託する。

委託先：公益財団法人高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

(2) 防護柵設置業務委託 1,939千円

防護柵設置計画に基づいた柵の設置業務を委託する。

委託先：県内森林組合

契約方法：随意契約

(3) モニタリング調査業務委託 5,665千円

前年度までに設置した防護柵の効果を把握するため、モニタリングやヒアリングの実施を委託する。

委託先：株式会社西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

(4) 希少野生植物食害防止対策（石鎚山系保護指針策定）委託 5,544千円

シカ食害が懸念される石鎚山系において多様性喪失を未然に防ぐための、保護計画（指針）の策定を委託する。

委託先：株式会社西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

3 令和元年度に実施した主な事業

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネットの設置や既設ネットのモニタリング調査等を実施

- ・調査箇所 8箇所
- ・防護ネットの設置 2箇所 333.3m延長
- ・既設ネット箇所の点検、モニタリング 全箇所（44箇所）点検、モニタリング13/44箇所

III 生物多様性地域戦略推進事業費（326千円（-）326千円）

1 目的

生物多様性基本法に基づき策定した「生物多様性こうち戦略」の推進及び進捗管理を行う。

2 内容

(1) 委員報酬 108千円（自然環境部会委員報酬）

(2) その他事務費 218千円

3 令和元年度に実施した主な事業

生物多様性地域戦略の普及啓発

- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー登録者数 新規登録6人（累計：45人）
- ・生物多様性こうち戦略改訂版の印刷・配布
- ・生物多様性こうち戦略改訂版パンフレットの作成・配布等

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	113,188	127,793	115,073	53,012	(債) 52,000	10,061

I 自然公園等リフレッシュ事業費

1 目的

自然公園や長距離自然歩道（四国のみち）などの施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を改修し、訪れる観光客の快適な利用や安全を確保する。

2 内容

(1) 施設改修工事等の実施（115,073千円（国）53,012千円（債）52,000千円（-）10,061千円）

- ・ 四国のみち看板等改修等工事
- ・ 唐人駄場園地トイレ改築工事
- ・ 唐人駄場園地炊事場改修工事
- ・ 四国のみち（榎西海岸へのみち）遊歩道改修工事
- ・ お亀岩避難小屋改修工事
- ・ 室戸岬園地トイレ改修工事
- ・ 室戸岬園地遊歩道改修工事
- ・ 月見山こどもの森水道施設改修工事請負費 他

①設計委託（5,092千円（国）2,403千円（債）2,000千円（-）689千円）

事業実施に必要な設計や、工事積算・施工管理を委託する。

②土木システム保守管理委託（187千円（-）187千円）

土木行政総合システム改訂等を委託する。

③施設整備工事請負費（99,622千円（国）40,609千円（債）50,000千円（-）9,013千円）

④自然環境整備交付金（10,000千円（国）10,000千円）

竜串園地の再整備に合わせ駐車場及び周辺施設の改修への補助

実施主体：土佐清水市

補助率：50%

⑤事務費（172千円（-）172千円）

3 令和元年度に実施した主な事業

四国のみち整備等工事（竜串園地）

四国のみち

（竜串へのみち） 看板等改修工事、遊歩道改修工事

（仁淀川町・越知町・津野町）看板改修等工事

（土佐入野松原へのみち） トイレ簡易水洗化・洋式化工事

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	17,660	17,660	19,262		(使) 7 (諸) 4,185	15,070

I 自然公園管理費（1,735千円（※）7千円（-）1,728千円）

1 目的

「自然公園法」及び「高知県立自然公園条例」により指定された足摺宇和海国立公園、3 国定公園及び18県立自然公園の保護管理を充実させるとともに公園利用の適正化を図る。

2 内容

(1) 四国のみちポータルサイト制作運用協議会負担金（100千円（-）100千円）

四国4 県連携推進費で作成した「四国のみちポータルサイト」の維持管理

負担率：25%（四国4 県で負担）

(2) 現地調査等に要する活動旅費や公園施設の修繕費等（1,635千円（※）7千円（-）1,628千円）

II 県立こどもの森管理運営費（12,101千円（※）4,185千円（-）7,916千円）

1 目的

「高知県立月見山こどもの森の設置及び管理に関する条例」に基づき設置された月見山こどもの森の施設管理運営を行う。

2 内容

(1) 月見山こどもの森管理運営委託（9,100千円（※）4,185千円（-）4,915千円）

県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理運営を委託する。

指定期間：H30. 4. 1～R 5. 3. 31（5年間）

指定管理者：情報交流館ネットワーク

(2) 月見山こどもの森ホームページ作成委託（121千円（-）121千円）

月見山こどもの森のホームページ作成を委託する。

委託先：県内事業者

契約方法：随意契約

(3) その他事務費（2,880千円（-）2,880千円）

3 令和元年度に実施した主な事業

県立月見山こどもの森の管理運営委託

年間利用者数 25,403人（R2. 3月末）

道の駅やすやごめんなはり線等の施設との連携を図る事業

地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

Ⅲ 四国のみち管理費（5,170千円（-）5,170千円）

1 目的

昭和56年度から平成元年度までに整備した長距離自然歩道（四国のみち）の維持管理を地元市町村等に委託し、利用の促進と保守点検に努める。

2 内容

(1) 四国のみち管理委託 5,155千円

昭和56年度から整備した長距離自然歩道（四国のみち）の維持管理を委託する。

委託先：18市町村、高知市シルバー人材センター、野根山街道保存協議会

路線数：36ルート（延長411.0km）

(2) 四国のみち休憩所・園地借地料 15千円

3 令和元年度に実施した主な事業の実績

四国のみち管理委託 36ルート、411.0kmの草刈り等

Ⅳ 自然公園指導員活動強化事業費（256千円（-）256千円）

1 目的

自然公園の適正な保護と利用を促進するため、「高知県自然公園指導員設置要綱」を定め、自然公園指導員を配置するとともに、指導員の資質向上を図るため研修会を開催する。

2 内容

(1) 自然公園指導員の活動にかかる経費

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運営費	645,539	656,165	628,668	56,288	(使) 140 (債) 149,000	423,240

I 牧野植物園管理運営費（403,659千円（債）140千円（-）403,519千円）

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、土佐寒蘭の保護及び知識の普及を図り、県民に対し、憩いの場を提供するため、牧野植物園の管理を指定管理者に行わせる。

2 内容

(1) 管理等委託

牧野植物園の指定管理者による管理代行を委託する

- ・指定期間：H28.4.1～R3.3.31（5年間）
- ・指定管理者：公益財団法人高知県牧野記念財団
- ・イベント等の開催

①春のフラワーショー ～世界で愛される日本の植物～（R2.3.20からR2.6.7まで）

②植物スタンプラリー「牧野ボタニカル・アドベンチャー」（R2.7.18からR2.8.31まで）

③企画展「植物は、うごく。－4K映像で見る・しる成長のひみつ」（R2.3.20からR2.8.31まで）

④企画展「牧野日本植物図鑑展（仮称）」（R2.10.17からR3.2.7まで） 他

3 令和元年度に実施した主な事業の実績

牧野植物園入園者数 174,074人（R2.3月末現在）

イベント等の開催

①春のフラワーショー（3/21～5/26（67日間） 64,942人）

②「とびこもう！植物の世界へ」植物スタンプラリーほか（7/20～9/1（44日間） 18,607人）

③ラン展（2/1～2/24（24日間） 18,938人）ほか

II 管理運営費（本課）（102,587千円（償）95,000千円（-）7,587千円）

1 目的

牧野植物園の管理運営等に係る環境共生課の運営費。

2 内容

(1) 施設維持修繕費等

- ・空調設備改修工事設計委託（4,012千円（償）3,895千円（-）117千円）
- ・空調設備改修工事請負費（73,887千円（償）73,600千円（-）287千円）
- ・電気設備改修工事設計監理委託（2,185千円（償）2,105千円（-）80千円）
- ・電気設備改修工事請負費（15,543千円（償）15,400千円（-）143千円）
- ・記念館屋根修繕予備調査委託（2,464千円（-）2,464千円）
- ・指定管理者事業評価委員会の運営ほか（4,496千円（-）4,496千円）

III 牧野植物園磨き上げ整備事業費（122,422千円（国）56,288千円（償）54,000千円（-）12,134千円）

1 目的

牧野植物園の新たな魅力を創出するため、整備を行うもの

2 内容

(1) 施設整備費等

- ・新研究棟敷地造成等測量設計委託（17,952千円（国）8,976千円（償）8,000千円（-）976千円）
- ・南園及び進入道路改修予備設計委託（5,555千円（-）5,555千円）
- ・圃場用地測量委託（2,871千円（-）2,871千円）
- ・新研究棟建築実施設計委託（37,466千円（国）18,733千円（償）18,500千円（-）233千円）
- ・新研究棟敷地地質調査委託（7,912千円（国）3,956千円（償）3,500千円（-）456千円）
- ・新研究棟敷地造成等工事請負費（49,247千円（国）24,623千円（償）24,000千円（-）624千円）
- ・土木システム保守管理委託（433千円（-）433千円）
- ・事務費（986千円（-）986千円）

3 令和元年度に実施した主な事業

施設整備

- ・新研究棟建築基本設計委託
- ・新園地（こんこん山広場及びふむふむ広場）整備工事（平成30年度～令和元年度）
- ・VR等映像コンテンツの制作（平成30年度～令和元年度）
- ・展示館改修工事委託（平成30年度～令和元年度）

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
豊かな環境づくり 総合支援事業費	4,081	4,081	4,081			4,081

1 目的

高知県環境基本計画第四次計画の目指す3つの社会づくりを実現するために、NPOや任意団体等が行う地球温暖化対策の啓発活動や河川的环境保全及び環境学習等に対して総合的に支援する。

2 内容

(1) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金 4,000千円

「高知県環境基本計画第四次計画」(平成28年4月策定)において示す5つの対象分野(以下のとおり)の県内で実施される事業であり、3つの社会づくり(低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくり)を目指す取組に対して補助金を交付する。

補助対象事業：次に掲げる5分野に資すると認められるハード事業及びソフト事業

- ・地球温暖化への対策
- ・循環型社会への取組(3Rの推進等)
- ・自然環境を守る取組
- ・環境ビジネスの振興
- ・環境を守り育てる人材の育成

補助先：NPO等(公益法人を含む)

補助率：定額

(2) 事務費 81千円

3 令和元年度に実施した主な事業

事業件数：5件

- ・三嶺の森を守るみんなの会(341千円：三嶺の森溪谷林再生事業)

過去11年の間に設置した防鹿柵、樹木保護ネットの点検・補修を行うことによって、防鹿柵、樹木保護ネットの機能を良好な状態で維持し、シカの食害によって傷ついた三嶺の森の再生を促す。

- ・研究会はたのおと(500千円：はたのおと2019 地域支援を見つめ直す学びの場づくり)

高知県幡多地域を舞台とした身近な学びの場として、一般参加可能な研究発表会と充実したエクスカッションからなる「研究発表会はたのおと」を継続開催する。

- ・認定NPO法人四国自然史科学研究センター(500千円：横倉山生物総合調査事業)

横倉山及び周辺地域において、令和元年度から令和5年度にかけて、生物総合学術調査事業を行う。令和元年度は、調査体制整備、事前調査及び講座(座学・観察会)である。対象とする分類学は、動物、植物、菌類を含む広範な分野とする。

ほか

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境活動支援センター事業費	16,446	16,446	17,891		(入) 5,891	12,000

1 目的

県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、情報発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性こうち戦略に基づく普及啓発などの事業を実施することにより、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境に優しいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すため、環境活動支援センター（えこらぼ）を運営する。

2 内容

(1) 環境活動支援センター事業費

県民の環境活動を支援し、環境学習などを推進する拠点としての環境活動支援センター（えこらぼ）の運営及び普及啓発等を行う。

委託先：特定非営利活動法人環境の杜こうち

委託期間：令和2年度から令和4年度（3年間）

3 令和元年度に実施した主な事業

情報発信

ホームページの運営、メールマガジンの配信、SNSによる情報発信等

環境学習支援

環境学習の講師紹介・派遣、環境絵日記コンテスト、こどもエコクラブ事業

生物多様性こうち戦略の推進

生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座・活動現場体験ツアー

その他

地域イベントへの出展、環境学習プログラムの作成、エコ川柳など

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	
<p>1 目的及び内容 自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災又は破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。</p> <p>2 令和元年度に実施した主な事業 ・室戸岬園地遊歩道等災害復旧工事</p>						

事業名	令和元年度	令和元年度	令和2年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	2,515	2,515	2,404		(財) 96 (越) 2,308	
<p>1 目的 高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。</p> <p>2 内容 県が取得した土地の維持管理を行う。</p> <p>3 令和元年度に実施した主な事業 自然保護基金で取得した土地の維持管理を実施 ・灘園地の整地業務</p>						